

目標達成計画

事業所名 : グループホーム奏

作成日 : 令和 2年 12月 18日

評価結果

市町提出日 : 令和 2年 12月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	身体拘束等については運営推進会議等でヒヤリハットと共に報告する機会はあるも現場職員に拘束の詳細や意図などを学ぶ場をもっと多く持ってもらうことが課題である。	身体拘束の内容やサービス提供での有無等の共通事項をおお基となる「適正化の指針」という書面を職員にいつそう周知し、事業所内での「身体拘束」「言葉の拘束」「服薬の拘束」について考える場と環境を持つ。	「適正化の指針」と「取り組み報告書」をセットとして話し合いの中での今後の学びや進歩と今までの振り返りをもってもらい「拘束」の理解を深めていけるように取り組みたい。	3 か月
2					か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。